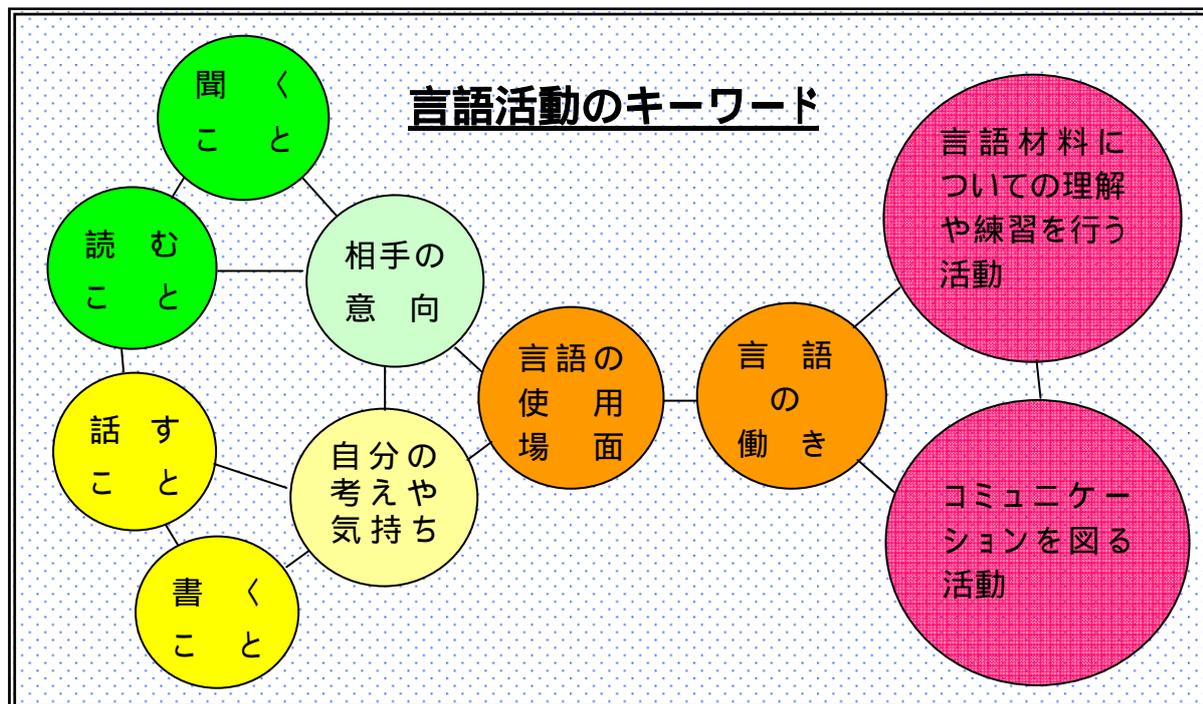


また、言語活動を設定する際、念頭に置いておかなければならないキーワードとして、次のものが挙げられます。



## 「聞くこと」の力を高める指導の工夫をしましょう

これまでの調査では、「聞くこと」については、概ね良好な結果となっています。しかし、調査問題を個別にみていくと、課題もあります。今後、さらに高めていきたい力として、「要点を聞き取る力」や「適切に応答する力」が挙げられます。

学習指導要領「2 内容(1)言語活動」には、「英語を理解し、英語で表現する能力を養うため、次の言語活動を3学年間を通して行わせる」とあり、領域ごとにいくつかの指導事項が示されています。そのうち、「聞くこと」の指導事項に、次のようなものがあります。

(イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、具体的な内容や大切な部分を聞き取ること。

(ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。

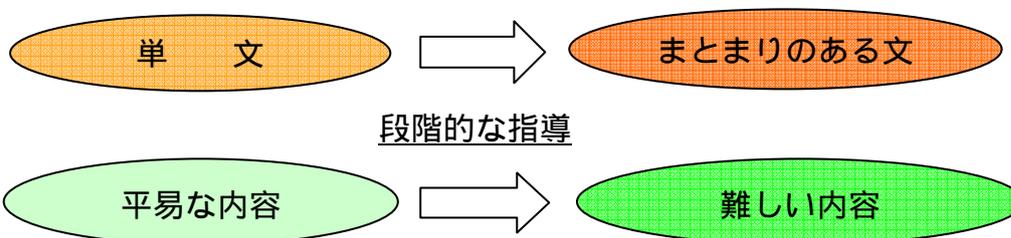
それでは、どのような指導をすれば、「要点を聞き取る力」や「適切に応答する力」を高めることができるのでしょうか。

現在の教育課程での限られた時数で、様々な副教材を授業に取り入れることは難しいと思われます。そこで、これまで先生方が実践されてきた方法をもう一度見直し、授業で無理なく実践できるものを取り上げました。ねらいを明確にして実践することで、より効果があげられると考えます。

## 1 「要点を聞き取る力」を高める指導の工夫をしましょう

### 段階的な指導をしましょう

生徒の「要点を聞き取る力」を高めるには、単文からまとまりのある文へ、また、内容は平易なものから難しいものへ、というように、段階的な指導を心がけることが大切です。



さらに、どのような点に注意して聞き取ればよいかなど、生徒に聞き取りのポイントを理解させることも大切です。そうしないと、生徒はどのような点を聞き取ればよいかわからずに、漫然と聞き流してしまうことにもなりかねません。

### 単文レベルの指導

身近な事柄を取り上げて、いくつかの単文を聞かせます。一つの文の聞き取りに集中すればよいので、生徒にとっては取り組みやすいものとなります。聞き取った文の内容が正しいと思ったら挙手をさせ、理解の状況を確認めます。

このとき、教師が示す文の内容として、一部の生徒しか分からないようなものは取り上げないようにします。例えば、Ichiro is on Seattle Mariners. のような文は、野球に興味がない生徒は分からないと思われるので扱わない、ということです。ただし、多くの生徒が分からないと思われる内容なら、正解を予想するクイズ感覚で行え、生徒も興味をもって取り組むことができます。次の文例のうち、【外国について】の文がそれに当たります。

### 文例

【事実について】

There are seven days in a week.

May 5 is the day for boys.

Mt. Fuji is the highest mountain in Japan.

【学校生活について】

We have five classes today.  
There are thirty students in this class.  
All the students in this class like English.

【外国について】

Baseball is more popular than soccer in South Korea.  
We can watch NHK *Nodojiman* on TV in America.  
The tallest building in the world is in Taiwan.

### まとまりのある文の指導

ある程度まとまりのある文を聞かせるときは、学年や生徒の実態に応じて、文の量や難易度を考慮することが必要となります。特に、用いる語彙や文法によって難易度が変わるので、事前によく吟味しておく必要があります。一方、学習した直後の語彙や文法を意図的に用いることもできます。

次に示すのは、学年に応じた文例です。いずれも、教師が写真を示しながら、生徒にとって身近な「友達の紹介」を取り上げたものです。同じ話題でも、学年によって用いる語彙や文法事項が異なり、難易度が変わるといことが分かります。

対象学年：第1学年  
時 期：3人称単数現在形を学習した後  
文 の 数：5文程度

This is my friend, David.  
He likes sports very much.  
He plays baseball in the park.  
He likes music too.  
He plays the guitar very well.

対象学年：第2学年  
時 期：動名詞を学習した後  
文 の 数：7文程度

This is my friend, David.  
He likes sports very much.  
Baseball is his favorite sport.  
He enjoys playing baseball on Sunday.  
He likes music too.  
He likes playing the guitar with his friends.  
Every Wednesday he goes to a studio to play the guitar.

対象学年：第3学年

時期：現在完了形（継続の用法）を学習した後  
文の数：9文程度

This is my friend, David.  
He likes sports very much.  
Baseball is his favorite.  
He has played baseball for seven years.  
His father has taught him how to play.  
He loves music too.  
Hip-hop is his favorite.  
It makes him excited.  
He has learned hip-hop dancing for three years.

### スモールトークを活用しましょう

スモールトークは、ウォームアップなどでよく行われるもので、生徒同士で話をさせたり、教師が生徒に話を聞かせたりする活動です。もちろん、教師が生徒とインタラクションを取りながら進めることもあります。教師が行うスモールトークには、次のような利点があります。

短い時間で行うことができる

既習事項を意図的に用いて話すことができる

#### 教師が行うスモールトークの利点

身近な話題を扱うことで、生徒の興味・関心を高めることができる

生徒の実態に合わせて話す内容や速さを変えることができる

こんなに利点のあるスモールトークを、ぜひ授業で活用したいわね。



## 教師が行うスモールトークの例

対象学年：第2学年

トピック：日曜日にしたこと

指導手順： 教師自身が日曜日にしたことを、インタラクションをとりながら話す。

インタラクションをとらず、もう一度話をする。

T - Fクイズを行い、生徒の理解度を確認する。

配慮事項： ' インタラクションをとることで、生徒の興味・関心を高める。  
' 聞き取りのポイントを確認してから話をするようにし、要点を理解することに集中させる。  
' 生徒の実態に応じて、Q & Aなどを取り入れる。

T: Now I'll tell you about yesterday. What day was yesterday?

Ss: Sunday!

T: Right. Yesterday was Sunday. I went to Tokyo Disney Land with my family. Do you like TDL?

Ss: Yes.

T: Oh, many of you like TDL. There are a lot of attractions in TDL. Which attraction do you like the best? How about you, Ken?

K: I like Space Mountain the best.

T: Is that right? My son loves Space Mountain too. He wanted to ride it, but a lot of people were waiting there. It took about an hour to ride it.

S: That's lucky! When I was there, I waited more than two hours.

T: Wow! You're kidding! Who likes Space Mountain? Please raise your hands.

(About half of the students raised their hands.)

T: Wow, many students like Space Mountain. Why do you like Space Mountain, Yumi?

Y: Because it's exciting.

T: Oh, I see. After all we could ride only five attractions yesterday. We came home about eleven. We were very tired.

OK. Now I'll tell you my story one more time. Please listen carefully. Especially, where did we go yesterday? What did we do there? What time did we get home? After that, I'll give you T-F quiz.

\* 下線部は、「聞き取りのポイント」

こういったスモールトークを繰り返すことで、生徒は聞くことに慣れるとともに、ポイントを絞って聞くことができるようになります。

利点が多く、準備に手間をかけずに無理なく行うことができるスモールトークを、意図的・継続的に授業に取り入れていきましょう。